さくらちょうしょう
桜町小だより
「緑と笑顔がいっぱい桜町小」
児童数　３３４名　　令和６年１月９日（火）

令和6年幕開けに考えたこと

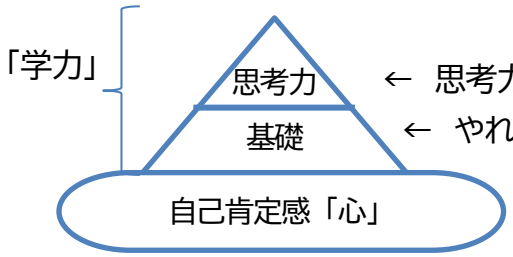
校長　小川 哲

能登半島地震、航空機事故等、被害に遭われた方々、関係の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

年末年始に書籍を読みながら考えたことの中に、12月8日に行われた本校PTA主催教育講演会「これからの時代の子育て～学力を超える大切な力とは～」で花まる学習会代表　高濱　正伸様からいただいたお話と結びつくものが多くありました。2つ、ここに記したいと思います。

＜学力・心を考える＞

遊びを通して育まれる力がたくさんある！



← 思考力(感性、技術、センス…)

← やればできる！　大切なのは習慣化

← 学力を支える「心」

・「心」について…幼児期は、嫌なことがあっても、一晩寝たら「まぁ、いいか」と、心は次へと向かっている。この力が大事。中学2・3年ぐらいまでキープできると、その後からは自分で動き出せる。そのために必要なのは「家ではしつけ。外では失敗の経験」。子供にとってトラブルは財産！「行っておいで！」と送り出しましょう！

子供たちは学校生活の様々な場面で、成功と失敗を繰り返しています。その時に大切なのは「自分で選択したのか。自分で決めたのか」ということだと思います。そして、結果も含めて「自分が決めたことだから」と自分なりに納得して、結果を受け止めているかという経験です。特に「遊び」には「正解のない選択や判断」がたくさんあります。こういった時間でも子供たちは自らを育んでいるのだと改めて感じましたし、私たち大人が子供たちの自らを育んでいる機会を奪ってはいけないと感じました。

＜子育てのpoint＞

・家庭が閉じてきた。子育ては、昔は母たちが群れてやっていた。近所のおばちゃんたち(先輩母)が家庭に入っていた。子供が帰って来たときに、家で一緒におやつを食べていた。今のお母さんたちに伝えたいのは…「頼りなさい」「聞きなさい」「人とつながって」「一人でがんばらない」

・親の力　子供が辛いとき…ギューっと抱きしめて「あなたには帰る場所があるよ」
「味方がいるよ」という思いが伝わるように

本校の PTA 活動に触れ、「保護者の方々がつながるのに必要だなぁ」とよく思います。クリーン活動や運動会の準備・片付け、鳩ヶ谷ブロックソフトバレー大会等、時間を割いていただいて感謝の気持ちでいっぱいですが、活動の中で言葉を交わしながら、楽しく活動している姿を見ると、その効果は実務だけではないと強く思います。いつもありがとうございます。

鳩ヶ谷地区のPTAの方々にもたくさんご参加いただきました。共通のお話を聴く機会をもてたことを大変うれしく思います。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年も桜町小は子供たちの「心」と「学び」を大事にします。今年もよろしくお願いいたします。